兵庫県立津名高等学校
同窓会阪神支部報

第9号
発行所
大阪市北区西天満4-6-3
ヴェール中之島北901号
薄木総合法律事務所内
津名高校同窓会阪神支部
TEL(06)6365-5512
FAX(06)6365-8241

今こそ母校津名高校の発展のために寄与しよう
―新校舎完成を迎えて―



阪神支部支部長
薄木　昌信
（高校七回生）

初夏の候、津名高校同窓会阪神支部の会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

既にご承知のとおり津名高校は平成一七年四月から新校舎で新学期を迎えることになっております。

また、本年二月七日に津名郡五町の「合併協定調印式」が開設され、津名郡五町（津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町）は平成一七年四月一日付にて合併し、新しく淡路市となることに決定しました。

私たちの母校津名高校と私たちの郷里の津名郡が、いよいよ新しい時代を迎えることになり、誠に喜びにたえません。

今後、母校津名高校と新しく発足する淡路市が、更なる発展をしていくことを今から期待したいと思います。

当阪神支部の会則第三条によりますと、支部の目的として、「本支部は、会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与することを目的とする」と定められています。

然るに、会則で右のように定めていても、同窓会として一体どの様にして母校に寄与するか、についてはその実現が大変難関であり、その実現には困難が伴うところです。

しかし、過去三〇年間の母校津名高校の同窓会の活動を振り返って考えて見ると、母校津名高校の同窓会は、今こそ本部も支部も一体となって、母校の発展のために寄与しなければならない時期であると思います。そのためには、会員の皆様方の深い御理解と暖かい御援助が、どうしても必要であります。

先般、同窓会本部において、「新校舎移転記念事業委員会」が発足し、阪神支部からも一二名の委員を選出し、新校舎完成に伴う諸資金捻出のため、本部と支部とが一体となって募金活動を開始することになりました。

支部会員の皆様方におかれましては、経済状況が大変厳しい昨今の折柄、誠に恐縮ですが、右募金については一人でも多くの会員の方の御協力のほどを、切にお願いする次第であります。

どうか、「今こそ、母校津名高校のために寄与しよう」という気持になって頂いて、御協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



ごあいさつ



同窓会長
小久保　正雄
（高校四回生）

阪神支部の皆さん

お元気にお過ごしですか。平素は同窓会に格別のご理解をいただき、活発なる活動を展開していただき心から感謝しております。

今や津名高同窓会は阪神支部抜きでは語れないくらいです。

ところで待望久しかった機会の移転改築の工事も順調にすすんで、みどり濃い番城ヶ丘にどこか南欧風のしゃれた外観の建物群の姿が見えてきました。

工事の進行と共に、会員の間から、この校舎に私たちの永年の念願であった同窓会館の建設を行ってはどうか、という意見が強くなって来ました。

会員のこのような声に応えるべく役員会などもたびたび開いて議論を重ねて来ましたが いよいよ建設にふみ切ることになりました。

現在の経済情勢からすれば、決して好タイミングとはいえませんが、この時期を外しては二度とチャンスはない、というのが多くの方々の意見でした。

各学年毎に建設委員を委嘱し募金を始めなければなりません。

皆さん方のご協力をぜひぜひお願いいたします。

津名高校に新しい風



校長
濱田　正晴

津名高校同窓会阪神支部の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、母校津名高校の教育活動にひとかたならぬご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。阪神支部は昭和四十七年の創設と伺っていますが、継続的に活動され、薄木昌信支部長様をはじめ支部役員の皆様のご努力でさらなる発展を図っておられますことに、衷心より敬意を表する次第でございます。

私は、この春の異動で、高坂健校長が県立洲本高等学校長に転じた後を受けて、津名高校の校長として着任いたしました濱田正晴でございます。この三月までは、神戸にあります夜間定時制の県立湊川高等学校の校長をしていました。淡路地区の学校に勤務するのは初めてですが、津名高等学校長として学校経営に全力を尽くす所存でございますので、前任者同様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、校舎の移転改築の件でございますが、工事は順調に進捗しており、平成十七年春には移転の運びとなっております。来年の春には、明るい津名の天地に映える、公立高校としては県下でも珍しい瀟洒なたたずまいの校舎が完成するはずです。よろしければ、津名高校のホームページ（http://www.hyogo-c.ed.jp/~tsuna-hs/）の「新校舎情報」をごらんください。

入れ物は完成を待つのみとして、大切なのは中身です。平成十六年度の生徒募集ポスターには、「津名に吹く風あたらしい風」のキャッチフレーズが縦一文字に印刷されています。新しい地に新しい校舎、どのような新しい風を巻き起こすか、が確認の課題です。もちろん、八十有余年の津名高校の伝統をしっかりと受け継ぎ、それをさらに発展充実させていくことが重要です。

校内的には、従来の学校ビジョン検討委員会を活用し、職員の活発な論議を経て、衆知を集めたいと考えています。昨年度の委員会では、まず学校評価の問題に取り組み、そこから新たに学力向上策と礼節指導の問題が浮かびがってきました。今年度は、学校ビジョン委員会に学校評価・学力向上策・礼節指導の三つの小委員会を設置し、年度内に一つのビジョンとしてとりまとめる予定です。

「生きる力」ということが言われだして十年ちかくになります。私は、現在の若者に必要なのは、「しなやかにたくましく生きる力」だと考えています。「しなやかに生きる」とは、自分の周りの人・自然・社会とうまく調和を図りながら事を進めることです。人間関係の基本は礼節です。「たくましく生きる」とは、自分個人としての生き方・在り方をしっかりと見据え、その実現に向けてくじけずがんばりとおすことです。たくましく生きるための基本となるのは、確かな学力です。礼儀正しく、確かな学力を備えた人づくりをめざし、その成果を評価し、公表していきたいと考えています。

ともあれ、私ども校内にいる者は目の前のことに追われがちです。阪神支部の皆様方からも、すこし離れた立場から、母校津名高校のために、率直なご意見やご提案をいただければ幸甚でございます。

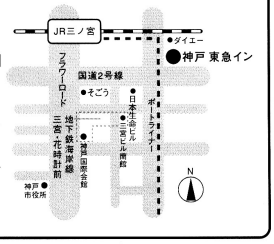
最後になりましたが、阪神支部活動のますますのご発展と、支部会員各位のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

津名高等学校同窓会
阪神支部総会・懇親会ご案内

日　時　平成16年8月29日(日)
　　午前10時30分～
場　所　JR三宮駅前
　　ホテル「神戸東急イン」3階
参加費　10,000円　Tel：078－291－0109

津名高卒業生(プロジャズシンガー)藤岡まゆみ(45回生)によるコンサートを同時開催

藤岡まゆみさんのプロフィールは8ページをご覧下さい。



出席希望者は同封の返信用葉書でご連絡下さい。

総会に参加されない方も、年会費二千円を是非お送り下さいますようお願い申し上げます。

大ピンチです!!
当支部年会費納入のお願い

当阪神支部の1ヶ年の会費2,000円(平成16年度分)を、同封の郵便「払込取扱票」で納入して頂きたくお願い申し上げます。

経済が著しく不況の折柄誠に申し訳ございませんが、この会費がないと支部報の発行が不可能となりますので、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

・郵便振替口座

口座番号　00980－7－184478

口座名義　兵庫県立津名高等学校
　　同窓会阪神支部

卒業生の皆様の倖せを心からお祈りします

青野運動公苑
〒655-2402 兵庫県加西市油谷町六三九－三
代表取締役社長　森　章次（高十八回生）
コンペ歓迎、津名高ＯＢ割引いたします
アオノゴルフコース（本格パブリックコース）
ＴＥＬ〇七九〇－四五－一五五六
アオノテニスクラブ（テニスコート20面）
アオノスポーツホテル（ホテル&コテージ）
ＴＥＬ〇七九〇－四五－一八四五
http://www.aono-undoukouen.com

北海道から沖縄まで・・・　観光ポスター、パンフレット、絵ハガキ等 製作
各地 観光協会 観光館 組合 推薦　撮影から印刷までオールO.K

観光・ホテル・旅館・専門　宣映　総合広告・企画印刷
代表　粟井節郎（高5回生）
〒671-0111 姫路市的形町的形1658番地
御用は至急に
TEL&FAX 0792-54-0492
携帯電話 090-3783-2333
●宣映グループ／仙台・東京・小田原・福岡

クルーズ略記

澤田脩（高校三回生）

十月一日、旅行会社の地中海・エーゲ海十五日間のクルーズに参加した。通常のツアーは慣れているが、クルーズは初めてだ。服装からして、フォーマルの指定があるときく。私は礼服で済むが、妻は新調する等、普通の旅とは異なる。船はリベリア船籍、九一〇〇〇トン、乗客定員一九五〇名、乗組員九九九名のミレニアム号で、成田から空路フランクフルト（ドイツ）に、そこで乗り継ぎバルセロナ（スペイン）で一泊後乗船する旅程である。衣類等は乗船後、船室内のロッカーに吊せばよいので、トランクに無理に詰め込み宅急便に託した。荷物を持ち運びしないで、観光を楽しめる。

成田から約十四時間後、バルセロナに到着、翌日専用バスで市内観光。グエル公園は色とりどりのタイル張りを施した囲いやベンチ。グリム童話に出てくるような建物もあり、個性的な公園である。観光後ミレニアムに乗船、いよいよクルーズの始まりである。三日目はコートダジュールのビルフランシュ（フランス）に寄港、澄み切った海岸を見ながらニース、エズとモナコ公園を観光。真夜中にリボルノ（イタリア）へ向け出航、早朝寄港。港から少し離れた所にピサがあり、鐘楼として建築された円筒形の白大理石製の斜塔があることで有名である。昼食に本場のイタリア料理とワインを飲んだ。これがいけなかった。バスでフィレンツェに着き、ルネサンス時代の大作があるウフィツィ美術館を見学中に失神してしまった。長い階段を上り、狭い室に入った事と、酔いとが重なったか。すぐ気付いたが、救急車を呼ばれ無理矢理に近くのサンタ・マリア・ヌオーバ病院に連れられ、点滴を受けた。古い歴史ある建物だが、寝伏中の蚊にはまいった。救急患者は治療費無料で、そのせいかどうか看護婦は冷たく、自国語のみを用いて、簡単な英語も解せず、手振り応答だ。イタリア人は誇り高く、他国語を強いて用いないのが、一般だと後できいた。旅行会社の現地在住の日本人が付き添っていたので助かった。夜おそくまで留められ、船から置去りとなり、市内のホテルで宿泊。翌日列車でローマへ。駅近くのホテルで宿泊。翌朝、タクシーでツアー一行と合流した。バチカン市国のピエトロ寺院、ローマの円形闘技場コロッセオ、アーチ型の複雑な建築が印象的だ。十月七・八日は終日クルージング、船内施設として、シアター、売店、スパ、プール、カジノ、スポーツコート等がある。食堂での食事は時間が定まっている。しかし軽食やアルコール以外の飲物は、いたる所にあり、無料である。クルージング中でも楽しく過ごせる。カジノでは一万円位儲け、羨ましがられた。

そうしている中に、アテネ（ギリシャ）近郊のピレウス港に早朝寄港。世界遺産の白亜のアクロポリスの丘や、オリンピック・スタジアムを見学、今回のオリンピック開催向けの工事が急ピッチで行われている。

その他、アトランティス大陸が地震で海中に没したといわれる、白く輝く家並みの美しい風景のサントリーニ島にも寄港上陸。十月十二日ドブロニク（クロアチア）寄港。旧市街地は海に突き出た城塞都市で、石造建物が多く、周囲との均整に感動した。翌日はベニスに寄港。水路を巡らせ、ゴンドラを浮べ、悪地盤に聖堂や宮殿が存在しているのには目を見はる。十月十五日、空路帰国した。

以上、紙面の都合上、端折って記載した点、お許し下さい。

訪問国の文化を理解するには、自国からではなく、訪問国の立場から物事を見ようと、心掛けて旅行しようといつも思っているが、それはなかなか難しいもので、気が付くとやはり自己本位になっている。病院での治療、それにともなう陸路での移動等、全く不幸中の幸で、めったに経験出来ない事と感謝している。今後も足腰が動ける間は旅をしたい。

「平凡」の重さ

上田知佐子（高校四回生）

庭先の小手毬が咲き始めた。間もなく満開の花が、白い波となって春風にうねるだろう。

山茶花が散り尽くして少し寂しくなった庭に、可憐な華やぎが戻り、心が弾む。今年も巡り会えた。夫婦揃って鬼も角も恙なく。

七十歳を過ぎても頑張る夫を会社に送り出し、家事をすませてほっと一息ついた時、窓越しに眺める白い花の群れは懐かしく、優しい安らぎを運んでくれる。淹れたてのコーヒーを口にしながら、何ともはない笑みが零れるもこんなひとときだ。古希を迎える老いの身に不安がないとは言えないが、去年見た花を再び眼にし、一日一日を平穏の中で過ごすことが出来れば、これに優る充実感はない。

人は一時に若者は一、一年か二年ずれているかな？）我々の同窓会は、ともかくも五月晴れの上天気に恵まれ有意義な一日を過ごすことができた。

この年齢になればそれぞれに体調を崩したり、また高齢の家族の介護などで止むなく欠席された方々も多く、皆で彼、彼女らの消息など話し合い久し振りの正に五十年ぶりの再会に涙ぐむ姿も見られたほどであった。こもごもに過ぎ越し方を語り合い昔話も尽きることなく賑やかな温もりのひとときを共にできる幸せをしみじみと想うのであった。



あっと言う間に散会の時間が迫り、田村徹氏が閉会の辞に立たれた「次は喜寿を祝う同窓会に…」、いやいやもっと早くまた会おうよなどと口々に言いながら記念写真に収まり、次回に望みを託して別れを惜しみつつ三三五五帰途につい

「古稀」の同窓会

森口文子（高校三回生）

♪「兎追いしかの山……
……つつがなしや友がき……」

♪　マイク片手に大声で歌をうたいながら同窓会長の三回生三津啓祐氏が壇上に立っている……。

五月八日、津高三回生の同窓会は山中宏子氏の司会により開始。松阪明子氏の開会のことば、筆谷正氏の挨拶に続いての三津さんの登場であった。こうしてこの日、六十七名の参加を得て新神戸オリエンタルホテル六甲の間で、会は盛大に開催された。

この度は千葉、東京、埼玉、横浜、静岡など遠くからの参会も多く淡路島は勿論、京阪神在住の同級生大勢が誘い合わせ参集した。

今までに亡くなった二十人の友人を偲び、黙祷を捧げて、あと乾杯。おくればせながら古来稀なる齢と言われる（本当は一年か二年ずれているかな？）我々の同窓会は、ともかくも五月晴れの上天気に恵まれ有意義な一日を過ごすことができた。

この年齢になればそれぞれに体調を崩したり、また高齢の家族の介護などで止むなく欠席された方々も多く、皆で彼、彼女らの消息など話し合い久し振りの正に五十年ぶりの再会に涙ぐむ姿も見られたほどであった。こもごもに過ぎ越し方を語り合い昔話も尽きることなく賑やかな温もりのひとときを共にできる幸せをしみじみと想うのであった。

あっと言う間に散会の時間が迫り、田村徹氏が閉会の辞に立たれた「次は喜寿を祝う同窓会に…」、いやいやもっと早くまた会おうよなどと口々に言いながら記念写真に収まり、次回に望みを託して別れを惜しみつつ三三五五帰途につい

企業は儲けるべきである

矢野靖（高校四回生）

N君から突然電話にて阪神支部発行の津名高新聞に原稿執筆の依頼があった。喋る方は兎角、原稿を書くのは全く苦手である。思い悩んだ挙く、M商社三五年の勤務に基き、下記に雑感を書く事に致し度い。企業は絶対に儲けねばならない。損失赤字は悪である。2期連続赤字ならば経営者は責任をとって退陣して貰い度い。企業は地域社会や国際社会と共に発展し、存続する為の社会的経費（ソーシャル・コスト）を負担しなければならないからである。要は国に出来るだけ多く税金を納め社会に貢献しなければならないと思ふ。2020年頃には年収500万円で贅沢は出来ないが、心豊かな生活をしたいものである。企業は儲ける為には企業努力は勿論だがまず政権党の責任は重い経済環境を良くする政策を党利党略に走らず規制緩和を断行してあらゆる障壁を取り除いて頂きたい。口癖の民で出来る事は総べて民にまかせる事。骨抜の道路公団民営化は絶対に駄目である。取り敢ず新規道路建設は即止めるべきである。大体生産性の低い四国に3本もの橋を作る様な馬はさけるべき、杜撰な官僚の利用予測に依る大失敗は我々は目のあたりにして居るではないか、百年を見通して、此の度の年金改革は机上の計算であり、2人弱で高齢者を支えるはずはありません。早い時期の破綻は目に見えて居る。私の提案では2015年迄に厚生労働省の年金制度を精算し、各個人の自助努力に依る新しい制度を作るべきであると思料する。バブル崩壊の後遺症に苦しんだ此の一〇余年いまだ続いて居る現状を打破し、総べて先送りの現政権をぶっつぶすべし。我々は清き一票を放棄すべきではない。次に企業の自助努力について私の経験を少し述べたい。1975年のM社S支店金属課は、独立採算制を取り陣容10人、年商200億円。純利益は2・5億円と記憶する。之は4月10日作成の経営計画の期初予想です。此の計画は昨年度の実績にGDPの伸び率、公定歩合円、ドル等の予測に基き各取引毎に年商を積上げたものである。一般管理費はまず自らの足もと分析、各個人の人件費、旅費、交通費、交際費、通信費、事務所費、本社経費、公租公課、資金需要等を厳密に検討計算して積み上げ一覧表を作成する之と材料にして上記一年間の経営利益管理をする。2ヶ月毎に修正を加え、目標達成に鋭意努力する。次に大切なものは与信管理である。取引先の2期分の貸借対照表並びに損益計算書を取り寄せ取引先毎に取引限度額を設定する之は管理部門の厳しい審査を受け支店長の承認を得る。"毎日の営業"毎月曜日早朝会議を開き先週の総括と今週の戦略、戦術を練る。24時間糸を張らして置くと当然切れるのでS市の繁華街に呑みに行ったり、月に3回ぐらいはゴルフを楽しんでりラックスした。最後に交際費について私の考えを記して置きたい。まず只喰いGOLFは避けたい。取引先に接待されるのは無く、接待すべきである。なぜならば得るべき利益は100あるものが90～80となり又逆に110～120となる。私は交際費は青天井で良いと考える。但し残念乍ら日本人は自己管理が実際問題出来ない。枠を設けないとタレ流しするし、私用に遣ったりする。以上全く思うままに書き綴ったもので、勘弁願い度い。

拙歌を一首

うつしみの憂き世を忘れ久々に少年少女に還るひととき

中世の武将・みちのくで…
淡路島旧家・今昔記

粟井節郎（高校五回生）

毎日新聞社刊・山岡荘八著、伊達政宗、第二巻、七四ページに、『……決して簡単な、戦ではない。城内の、男女一人も残さずに、斬り捨てて、挙げた首級が、六八〇余りというのだから、蒲生勢が、奥洲で、示した、凄惨な、威嚇戦争で、蒲生でも、粟井六右エ門、町野新兵エ、道家孫一、などの名の聞えた勇士たちが、戦死した。後に、出雲の阿国と共に、艶名を流した、名古屋山三も、この時十五才で、一番槍の功をうたわれている……』原文のまま、と書かれている、文章がありした。

淡路島古文書、武家事記に、天正十八年（一五九〇）粟井六右エ門は蒲生氏郷に従って、奥州で、討死、とあり、この奥州とは、どこで、どの様に、死んで行ったのか。永い間、全く不明でした。ところが、偶然にも、前記の書物に最近出合い、宮城県古川市教育委員会、及び、古川市商工観光課の御協力で、現在の古川市大崎名生（旧中新田町）に、その土地がありました。

中世の頃、奥州に聞えた、壮大な名城、名生（みょう）城であった事がわかり、昨秋十五年十月二日早速胸躍る想いで訪れました。四一三年も前に、壮絶な戦いで、七〇〇名近くの人々の血が流された場所、名生城跡に、淡路一宮の特産品、大


名生城天守閣跡にて合掌

実の六代目の孫、菅原知頼、真兼、尚忠、仲頼、満佐、と続き、全国に五二〇軒余の粟井姓があります。初代助盛一二〇〇年前半より盛衰つづき、鳥飼庄、豪農、稲部の歴史は、極楽寺に、主流の稲部、肥余、北山の三兄弟それぞれ五輪の塔を中心にした、先祖の墓があります。淡路島古文書（応永一三九四）（文明一四七三）


淡路島　五色町　鳥飼・粟井寓　稲部屋

……稲部屋の主人は、先きに立って、皆んなに指示をしながら働いています。職場には、大きな、染物の、かめ、がいくつもすえてあり、その中に濃紺のあい汁が、いっぱい入っており、その間を、せわしげに、職人が、いききしています。グラグラー目の前が、大きくゆれだし、棚の上に置いてあった染物の型紙が、バサッーバサッーと落ちて来ます。「地震じゃ」「地震だぞう」「早よう外へ出なされ、門の外へ逃げて行きなされ」人間が何人か入れるぐらい大きい、あいがめが、目の前で、グラグラ動く不気味さ、「うわ地割れじゃよう」人々は身ぶるいをしながら、話し合っています。主人は「こりゃ大変じゃ去年は干魃で、米がとれんと言うのに、地震で田が割れたり、くずれたりして、又又不作じゃ、昔の人は、よう言うとった二つありゃ三つあるいうて、これでなにもなけりゃ、ええがなあ、天災地変と言うもんは、防ぎようがないんで」翌年に心配していた事が、又々おこりました。春から降り始めた雨が、三日おきぐらいに、数ヶ月も続き、あちこちの池が切れ、せっかく植えた田が水につかり苗が、くさってきました。川の水がなかなか引かず、鳥飼八幡宮下の川の水があふれ、お宮さんの石段が、三段目まで、つかったと言います。

五色町鳥飼、稲部屋の主人は、丸五つ割万字、馬じるしの紋、現在は、大阪で弁護士をされ、おかゆ、すらも炊けないしまつです。「こんな時こそ今まで貯えていた米を、蔵から出すのが人の道というもんだ」稲部屋の主人は、おしげもなく米を放出、お粥を炊きだしました。これは安政七年（一八六〇）のことですが、これにより約七〇年前、天明六年（一七八七）にも大地震がありました。（原文のまま）古文書に自家貯蔵米を村人に放出、とあります。

稲部屋二十二代目当主一郎は、淡路トヨペットを創業、現在は義弟が社長である。

長男一弘は、東京三菱銀行、次男剛は、トヨタ自動車アジア担当シンガポール勤務である。一郎の父、真逸は、浅野小学校、校長時代原健三郎氏を教え、小石川の講談社に婿入りしていた当時から、父も親交があり、巻紙に、毛筆の手紙が、多くのこっている。アメリカ帰りの同氏は、日本にも、西部劇があればと、日活映画、小林旭主演の渡り鳥シリーズの作品を書かれた話は有名である。

親戚には、サンヨー電機の元会長、井植薫氏、京阪守口駅前、守口郵便局横に自宅があった頃時々泊まりがけで、おとずれたものである。又粟井桟剛の粟井寛逸、東浦町片山心先生ＪＲ尼崎駅前土井ビルディングの土井産業、土井泰司氏、姫路セントラルパークなど経営、ワールドの畑崎敏広氏などがいる。

小生の愚妻は、生田流の琴を学んだり、教えたり、一人娘は、神戸女学院大学を途中から国際線客室乗務員に、



■馬標の紋・丸五つ割万字、馬じるしの紋

五色町鳥飼、稲部屋は、父育造の生家である。同町発行の『ごしきの民話』濱岡きみ子先生編集の五七ページに、

■表紋・星梅鉢、菅原家由来のもの

■裏紋・足利幕府より当時有力武将に、下賜されたもの。粟井氏は、陣所の幕紋として使用していた。

三年つづきの凶作に、村の人達は、青息吐息の毎日で、おかゆ、すらも炊けないしまつです。「こんな時こそ今まで貯えていた米を、蔵から出すのが人の道というもんだ」稲部屋の主人は、おしげもなく米を放出、お粥を炊きだしました。これは安政七年（一八六〇）のことですが、これにより約七〇年前、天明六年（一七八七）にも大地震がありました。（原文のまま）古文書に自家貯蔵米を村人に放出、とあります。

稲部屋二十二代目当主一郎は、淡路トヨペットを創業、現在は義弟が社長である。

長男一弘は、東京三菱銀行、次男剛は、トヨタ自動車アジア担当シンガポール勤務である。一郎の父、真逸は、浅野小学校、校長時代原健三郎氏を教え、小石川の講談社に婿入りしていた当時から、父も親交があり、巻紙に、毛筆の手紙が、多くのこっている。アメリカ帰りの同氏は、日本にも、西部劇があればと、日活映画、小林旭主演の渡り鳥シリーズの作品を書かれた話は有名である。

親戚には、サンヨー電機の元会長、井植薫氏、京阪守口駅前、守口郵便局横に自宅があった頃時々泊まりがけで、おとずれたものである。又粟井桟剛の粟井寛逸、東浦町片山心先生ＪＲ尼崎駅前土井ビルディングの土井産業、土井泰司氏、姫路セントラルパークなど経営、ワールドの畑崎敏広氏などがいる。

小生の愚妻は、生田流の琴を学んだり、教えたり、一人娘は、神戸女学院大学を途中から国際線客室乗務員に、その後、姫路のお城の代表女王などを務め、現在は、大阪で弁護士をされ、おかゆ、すらも炊けないしまつです。「こんな時こそ今まで貯えていた米を、蔵から出すのが人の道というもんだ」稲部屋の主人は、おしげもなく米を放出、お粥を炊きだしました。これは安政七年（一八六〇）のことですが、これにより約七〇年前、天明六年（一七八七）にも大地震がありました。（原文のまま）古文書に自家貯蔵米を村人に放出、とあります。

稲部屋二十二代目当主一郎は、淡路トヨペットを創業、現在は義弟が社長である。

長男一弘は、東京三菱銀行、次男剛は、トヨタ自動車アジア担当シンガポール勤務である。一郎の父、真逸は、浅野小学校、校長時代原健三郎氏を教え、小石川の講談社に婿入りしていた当時から、父も親交があり、巻紙に、毛筆の手紙が、多くのこっている。アメリカ帰りの同氏は、日本にも、西部劇があればと、日活映画、小林旭主演の渡り鳥シリーズの作品を書かれた話は有名である。

親戚には、サンヨー電機の元会長、井植薫氏、京阪守口駅前、守口郵便局横に自宅があった頃時々泊まりがけで、おとずれたものである。又粟井桟剛の粟井寛逸、東浦町片山心先生ＪＲ尼崎駅前土井ビルディングの土井産業、土井泰司氏、姫路セントラルパークなど経営、ワールドの畑崎敏広氏などがいる。

小生の愚妻は、生田流の琴を学んだり、教えたり、一人娘は、神戸女学院大学を途中から国際線客室乗務員に、

新撰組とロシア・コザック兵

本田卓禾（高校六回生）

その後、姫路のお城の代表女王などを務め、現在は、大阪で弁護士をされ、おかゆ、すらも炊けないしまつです。「こんな時こそ今まで貯えていた米を、蔵から出すのが人の道というもんだ」稲部屋の主人は、おしげもなく米を放出、お粥を炊きだしました。これは安政七年（一八六〇）のことですが、これにより約七〇年前、天明六年（一七八七）にも大地震がありました。（原文のまま）古文書に自家貯蔵米を村人に放出、とあります。

稲部屋二十二代目当主一郎は、淡路トヨペットを創業、現在は義弟が社長である。

長男一弘は、東京三菱銀行、次男剛は、トヨタ自動車アジア担当シンガポール勤務である。一郎の父、真逸は、浅野小学校、校長時代原健三郎氏を教え、小石川の講談社に婿入りしていた当時から、父も親交があり、巻紙に、毛筆の手紙が、多くのこっている。アメリカ帰りの同氏は、日本にも、西部劇があればと、日活映画、小林旭主演の渡り鳥シリーズの作品を書かれた話は有名である。

親戚には、サンヨー電機の元会長、井植薫氏、京阪守口駅前、守口郵便局横に自宅があった頃時々泊まりがけで、おとずれたものである。又粟井桟剛の粟井寛逸、東浦町片山心先生ＪＲ尼崎駅前土井ビルディングの土井産業、土井泰司氏、姫路セントラルパークなど経営、ワールドの畑崎敏広氏などがいる。

小生の愚妻は、生田流の琴を学んだり、教えたり、一人娘は、神戸女学院大学を途中から国際線客室乗務員に、

株式会社ニチリン
代表取締役会長　外原利彦（高五回生）
〒671-1022 姫路市別所町佐土一二一八
TEL〇七九（二五一）二一六〇（代）FAX〇七九（二五一）二一六〇
〒650-0021 神戸市中央区三宮町一丁目一五一三宮ハートビル6階
TEL〇七八（三九一）四七一一 FAX〇七八（三九一）七五八

立花和也（高五回生）
〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺三丁目六番一二号
TEL・FAX〇七八一七三一二三四
ワンルームマンション メゾン立花　姫路市宮上町二丁目四八

津名高校同窓会　阪神支部顧問
弁護士　本田卓禾（高六回生）

坂東洋治（高六回生）
〒654-1114 神戸市北区鈴蘭台西町五丁目一番一九号
TEL〇七八一五九三一一四五二

澤田修（高三回生）

上田知佐子（高四回生）

筆谷正（高三回生）
（司法書士・行政書士・社会保険労務士）
事務所　〒662-0857 西宮市中前田町一一二五
TEL（〇七九八）三六一五五一一

日本行政書士会連合会相談役
（社）大阪淡友会理事
西宮・スポケーン姉妹都市協会副会長

端を担いだのもコザック兵であり、天地翻転・ロシア共産主義革命前夜の旧体制末端を担いでいたのもコザック兵であった。

新撰組及びコザック兵は、ともに農山漁村の二、三男坊で構成されていたのであり、新撰組は明治維新前夜の旧幕府体制の末端を担ぎ、コザック兵も旧帝政ロシア体制の末端を担いでいたのであった。

皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年も原稿依頼を受けましたので、寄稿させて頂きます。

昨夏には、日露戦争百周年を詩想して、モスクワ、サンクトペテルブルグ等を訪ねてみました。

モスクワでは、聖ワシリー寺院等の各聖堂は、天蓋にキャンドルを燃えたぎらせてわれわれを歓迎し、世界の巧技サーカス、白鳥舞うが如き功技バレーは、われわれを夢みる青少年へ回帰させてくれた。

かつて世界を二分していた共産主義の発信基地クレムリンは殊の他狭く小さく、天安門広場を凌駕するかと思っていた赤の広場も意外すぎ、生活力がなく、波乱の生涯を送った、人生の落第生であった当時、日本三大書家の一人であった京都高雄山、神護寺の管長、谷内清厳大僧正に横二メートルの力強い書「唯一心」と書かれた額をいただいているのが慰めである。

艦砲射撃で旧幕府時代の幕藩体制は震撼させられ、尊王攘夷論、佐幕開国論、公武合体論党が入り乱れる中で、経済的弱体化した幕府が農山漁村の二、三男坊を募集した末端傭兵すなわちそれが新撰組である。

最後の将軍慶喜は、咸臨丸でアメリカ視察から帰還した懐刀勝海舟の臥薪嘗胆論に従うことになった。赤誠を旨とする新撰組であったが、主を失ったことを露知らず、兵器（鉄砲）ブローカーのグラバー、坂本竜馬におどらされた薩・長藩の鉄砲で鳥羽伏見合戦において新撰組は潰滅状態に陥り、近藤勇は死罪に処され、土方歳三は北海道松前まで潰走して新撰組の歴史が終った。

ピョートルⅠ世、エカテリーナⅡ世によって確立された帝政ロシアを支えたのは農奴制であった。農奴からはみ出た農山漁村の二、三男坊は、コザック兵として後進帝政ロシア体制の末端を担ぎ、戦地へ送り込まれた。ナポレオンⅠ世が共和政を快哉してロシアへ進攻時に、スモレンスク街道からナポレオン軍をワーテルローへ追い落し、アンシャンレジーム勢力に加担してナポレオンをセントヘレナ島へ配流の遠因をもたらしたのはコザック兵であった。また日露戦争時に、ロシア軍の末

山嶺をめざして

北小路　和子
（高校七回生）

戸隠高原から見る連山は、ノコゴリ歯状の屏風を立てかけたように切り立っていた。戸隠山が、その険しさゆえに、かつて山伏達の修験の場であったと本に記されている。今回は、牧場脇のキャンプ場でベーステントをすることにし、一日目は戸隠山と呼ばれている表山を奥社から縦走を、二日目は裏山と称される高妻山、乙妻山を往復した。戸隠山は鎖場も多く、また踏み抜き注意と厳しさの連続であったが、互いに細心の注意をはらって通過したので何とかクリアーできたと思う。特に主稜線直下の最大の難所である蟻の戸渡りは、幅十センチ位の痩せた岩稜で、両側が切れ落ちてナイフリッジになっていた。手がかりは何もなく極度の緊張だったが、その分、山々の紅葉が実に見事だった戸隠山と呼ばれている表山を奥社から縦走を、二日目は裏山と称される高妻山、乙妻山を往復した。戸隠山は鎖場も多く、また踏み抜き注意と厳しさの連続であったが、互いに細心の注意をはらって通過したので何とかクリアーできたと思う。特に主稜線直下の最大の難所である蟻の戸渡りは、幅十センチ位の痩せた岩稜で、両側が切れ落ちてナイフリッジになっていた。手がかりは何もなく極度の緊張だったが、その分、山々の紅葉が実に見事だったことと快晴で展望が思いのままであったことに感慨もまた格別でした。

これは所属する山の会で毎月、発行される機関紙に昨年の十月、戸隠山から高妻山、山行における私の感想を寄せたものである。

思い返せば子育てのトンネルをようやく抜け出て、気の向くままに近郊の低山ハイキングを手探りで始めていた頃である。

山を熟知したベテランの日さんとの出会いがあって六甲全山縦走の誘いを受けていた。当時、気力も伴わない軟弱者の私は、遠いものとして捉え体力不足を理由に断っていた。にもかかわらず、日さんの熱意ある勧めに導かれ、無縁と思っていた六甲縦走を完走することができたのである。その日の達成感は、大きな喜びであった。

縦走で得た少しばかりの自信を弾みに身のほど知らずもいいことに山岳会へ入会した。

五十才からの入門である。

初心者にとって登山の基礎知識を学ぶことが出発であり夏山講座を受講した。

計画、装備、食料、テント生活の基本、地図の読み方、気象など、机上で学んだことを実技で身につけていく。

ホームグラウンドとする六甲山は、トレーニングの場となり週末は重いザックを背にひたすら汗を流した。

夏山修了山行は、北アルプスの最北端にあたる朝日、雪倉、白馬岳のコースである。北陸本線泊駅から小川温泉を経由し北又小屋から入山した。長い急登のイブリ尾根をあえぎながら一歩一歩、辿り着いた朝日平で初日のテントを張った。その夜、降るような満天の星空のなんともきれいだったことか！

翌日、雪倉岳の稜線では雨と強風に見舞われ苦しい思いもしたが、待望の白馬岳頂上に立つことができた。剣、立山連峰をはじめ、折り重なる山々の展望を存分に楽しんだ。

また豊富な高山植物で知られる白馬は、天上の楽園そのもので、高山植物の女王コマクサは砂礫地で、けなげに咲いていた。

自然のやさしさと厳しさを身をもって体験した夏山修了山行は、課題と大きな感動を残して無事終った。

この時を境にして、山に魅せられ目ざめたといえば過言になるが、私の中で一歩を踏み出したことは確かである。

以来、アルプスを軸に東へ西へと山域も広がって山行の楽しさが倍加していった。苦しさの後に味わう、あの解放感と充実感。花と相対していられるやすらぎ、ご来光のえもいわれぬ神々しさ、幻想的ともいえるブロッケン現象……。どれも非日常の空間を満たしてくれる大自然の恵みである。

ミーティングを重ね、トレーニングを積んで仲間と登ったあの山、この山、多くの感動を分かちあって十数年が過ぎた…。

願うことなら今しばらく山への想いと実感を持続できたら…と思うのだが。もちろん無謀な登山は禁物と心得ていたい。あくまで自分の身丈に合った山登りを心条にしたい、と心に刻んでいる。

識字に学ぶ

矢野　端
（高校七回生）

退職前に、定年後の生き方の講座があり、生きがいを何に見出すかが大事だという話であった。

同級生の一人は、夜間中学の教諭を退職後、数人のボランティア仲間をつくり、神戸の長田で読み書き教室を続けている。また大阪の元教諭で、次々と夜間中学をつくり、それを担当する講師を探すのが、毎日の仕事ですという全国同和教育研究大会の発表などにも刺激をうけ、私も同じような仕事がしたいと考えていた。

幸い希望がかない識字教室で、文字を奪い返して成長する女性たちと、7年間共に学習する機会に恵まれ、多くのことを気づかされたくさんのことを教えられました。最後の年は、日本語を学びたいという外国人も加わり、他の国の文化にふれながら、また和気藹々の雰囲気の中で、やりがいを感じながら退職することができました。今もその学習は続けています。

週2回、4、5人ずつとても熱心に、自分のしたい内容を進めていきます。

講師と生徒が話し合って、その人の課題を見付けて取り組んでいます。漢字の練習をする、生活記録を書く、物語を読む、日本語検定の問題集をするなどの個別の学習が中心ですが、仲間づくりを大切にということで、全体学習を必ず取り入れています。みんなで、今日の感想を話し合ったり、あるテーマについての体験、自分の国ではどうしているかなど語り合うことにより、他国の習慣や文化を知り、とても新鮮な気持ちで取り組んでいます。

この歳になって日本語は難しいと思うことが多々あり、相手に分かるように説明しにくいことがたえず出てきます。日本ではこうよんでいるとかこうなっているとしか答えられない時は、すぐに周りに助けを求めたり、辞書を引いたりして、改めて意味が分かったりすることがあります。習慣として日頃何気なく使っている言葉をよく質問されるので、私たちのほうが学ばせてもらっているという感じが強いのです。

私の発音通りに復唱するので、つい大きな声になりますが、隣のグループ同志互いに遠慮せずに学習するようにしています。

大きく口を開けてゆっくりと話すようになったのは、耳に障害のある生徒がいた時、集会などで、マイクなしでその子を見ながら話をするという体験が生きているのだと思います。

説明を分かりやすくする、丁寧にすることも、同和教育推進教員を3年間した時の体験からです。数学の授業で、一斉授業に付いていけない子に入り込み、個々に指導する時、どう言えば、分かって貰えるかを事前によく教材研究したものです。

よみかき教室に来る人には、意欲を育て楽しく学習してもらうために色々工夫をしています。その結果、できたという満足感、充実感を覚え、楽しく学びに来ているというのが何よりの喜びです。

人権教育、他文化共生教育で、自尊感情を大切にすることが年代に応じて考えられています。自分のことが好き、自分がみんなから認められていると言う事、自分も社会の一員で役に立っているんだという自己肯定感、自分もやればできるんだと自信をもつことは、どんな年齢の人にも必要なことです。



仕事を楽しむ

南　正光
（高校十四回生）

私が、世界最大・最強の金融機関「シティーグループ」のCEO（最高経営責任者）であるサンフォード・ワイル氏と出会ったのは、ハナミズキのピンクの花が咲いていた四年前の春であった。日興證券がシティーグループ入りした事に伴う記念パーティーがホテルオークラ（東京虎ノ門）で開かれ、その宴会場であった。

ワイル氏は、白いスーツを粋に着こなし精悍な顔を笑顔に崩し、ニコニコと次々に挨拶に訪れる招待客と名刺交換をし二言、三言談笑していた。

私は、ほろ酔い気分も手伝い、勇気を出してワイル氏と名刺交換をし、美人の通訳を通して次の自己紹介をした。「私は、兵庫県尼崎市に本社があるN社の南です。N社は、半導体検査用部品を製造しており、この業界では、世界のトップクラスです。どうぞよろしくお願いいたします。」私の自己紹介が終ったと同時に、ワイル氏はニコニコと笑顔で私のエンジ色に黄色のバラの花をあしらったネクタイの端をヒョイとつまみあげて「ミスターミナミの会社は、半導体検査用部品ではなくネクタイを作っているのではないですか？」唐突でイキなジョークに、ワイル氏、美人の通訳と私の三人で大笑いをした。そしてワイル氏は私に次の話をされた。

「私は、わずか四人で会社を創業し、現在では世界のシティーグループ」を築きあげた。ここ迄成長する過程にあっては、さまざまな辛苦があった。これらの辛苦を乗り越えた原動力は、毎日の仕事を楽しんで物事に挑戦し続けてきたからだ。従ってミスターミナミも、毎日の仕事を楽しむ姿勢が一番大事ですよ。」

ワイル氏から、プレゼントされた言葉「仕事を楽しむ」は、私の胸の中に今も大事に納まっている。



五十年来の思い実現

吾妻　和美
（高校七回生）

昨年八月二十八日、私は念願のスイス旅行に関空より出発した。中学時代教科書で見た一枚の写真、マッターホルンである。その雄姿に魅せられてより、いつか必ず肉眼で見たいとの思いがあったのです。アルプス3大名峰巡りで先ずモンブランへ。朝からの雨が雷雨に変りモンブランは全く見えず、青みを帯びた氷河だけ見る。バスと列車を乗りつぎツェルマットへ移動する。待望のマッターホルン観光です。翌朝、朝日に映えるマッターホルンを見た時の感動はどう表現すればよいのか、ことばもなく立ちすくむ。ああー、この姿が見たかったのだ。今でもドキドキする。見たいと思いつづけた五十余年の歳月が一瞬に過ぎたおもいであった。登山観光やハイキングを楽しみ二日間滞在したが、絵ハガキの様なマッターホルンを見たのは、ほんの二、三分だった。

スイス観行のハイライトと云われるユングフラウへは登山列車を乗り継ぎ登って行く。標高三四五四米のユングフラウヨッホ駅から高速エレベーターでスフンクス展望台に上る。雄大な光景に足が止ってしまう。外に出ると新雪を頂いた、アイガー、メンピ、ユングフラウが目前に迫り思わず、ウアーと叫んでいた。アレッチ氷河もキラキラと輝いて他の氷河とは違った美しさがあった。

雄大な山すそに広がる牧場、のんびりと草をはむ牛や羊の群、家々の窓には赤いゼラニュームの鉢植が置かれた風景もすばらしい。旅の終りは首都ベルンである。さすが世界遺産の街を思わせる雰囲気であった。市のシンボルの時計塔に噴水。ひときわ高くそびえる聖ピルセンツ大寺院。一五〇年の歳月をかけて完成した寺院の展望台まで、二五四段の階段を登りベルンの町を一望する。山とは違った感動を覚えた。感動と感激のスイスだった。もう一度行って見たい。

尾﨑田鶴子
（高六回生）
〒566-0001 摂津市千里丘四－十三－二七
TEL ○六－六三八九－四○七○

舞洲流通センター株式会社
取締役社長 明角清重
（高七回生）
〒554-0041 大阪市此花区北港白津一丁目二番五二号
TEL ○六－六四六七－二四五○

枇杷の会
津名高校
七回生 女子の会

ヤンマー農機株式会社
代表取締役副社長 中谷博文
（高七回生）
〒530-8221 大阪市北区茶屋町一番三十二号
TEL ○六－六三七六－六三二一

薄木総合法律事務所
弁護士 薄木昌信
（高七回生）
事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満四丁目六番三号
ヴェール中之島北九○一号
（大阪地方裁判所北隣）
TEL 大阪 ○六（六三六五）五五一一番
五五一三番
FAX 大阪 ○六（六三六五）八二四一番

こんな高校時代もあった

柴谷栄一（高校七回生）

授業をよくサボったこと。柴谷は随分休んでいるなあ。どうする。病気にしておくか。進学の内申書に対する、石井正一先生の言葉である。先生そうして下さい。

実はよく授業をサボってよく映画を見に行っていたのである。特にアゴさんの漢文はサボったようである。今はどの授業をサボったかは覚えていない。ただ野球の練習に間に合うように出かけたことだけはわかっている。

これは3年生の時だけではない。1年生の時に胃けいれんを授業中に起こし、高島内科に注射を打ってもらいに出かけた。それがサボりの病みつきになったのである。

白紙の答案用紙。3年の時の夏、アゴさんと英語の先生が喧嘩をしたようである。今はどの授業をサボったかは覚えていない。ただ野球の練習に間に合うように出かけたことだけはわかっている。

これは3年生の時だけではない。1年生の時に胃けいれんを授業中に起こし、高島内科に注射を打ってもらいに出かけた。それがサボりの病みつきになったのである。

白紙の答案用紙。3年の時の夏、アゴさんと英語の先生が喧嘩をしたようである。今はどの授業をサボったかは覚えていない。ただ野球の練習に間に合うように出かけたことだけはわかっている。

これは3年生の時だ

嵯峨御所「写経」紀行

沖正典（高校九回生）

冷い風がほほをなぜ、筆が紙と擦れ合う時の微かな音が、何となく心地好い。ここは嵯峨御所　大本山　大覚寺の写経道場である。折しも、嵯峨野は桜が満開で、天気にも恵まれて、大勢の観光客で賑わっているが、私は物見遊山で来たのではない。「行」のためである。

我が家の菩提寺、潮音山　海福寺は、この大覚寺の末寺であり、年二回「海福寺だより」が届けられる。説法、年中行事の詳細、団参へのお誘い等、盛り沢山の記事が拝読出来る。これまでの記事の中で、海福寺の潮　弘憲住職御所　大本山　大覚寺の写経道場である。折しも、嵯峨野は桜が満開で、天気にも恵まれて、大勢の観光客で賑わっているが、私は物見遊山で来たのではない。「行」のためである。

我が家の菩提寺、潮音山　海福寺は、この大覚寺の末寺であり、年二回「海福寺だより」が届けられる。説法、年中行事の詳細、団参

冷い風がほほをなぜ、筆が紙と擦れ合う時の微かな音が、何となく心地好い。ここは嵯峨御所　大本山　大覚寺の写経道場である。折しも、嵯峨野は桜が満開で、天気にも恵まれて、大勢の観光客で賑わっているが、私は物見遊山で来たのではない。「行」のためである。

我が家の菩提寺、潮音山　海福寺は、この大覚寺の末寺であり、年二回「海福寺だより」が届けられる。説法、年中行事の詳細、団参

へのお誘い等、盛り沢山の記事が拝読出来る。これまでの記事の中で、海福寺の潮　弘憲住職は、大覚寺で執り行われる、嵯峨天皇の大法会の会奉業として、法会の指導、総監を務められた他、僧侶の養成機関である嵯峨伝燈学院に、教授として永年御活躍されました。

こういう関わりがあってか、初めて訪れたお寺なのに、表門をくぐると何となく、深い親しみと、心安らぐ雰囲気を実感したのである。

それから、野球部ではないが小久保（同窓会長はその兄）の家へ柴ヤンがだめなら俺たちがいくらがんばってもだめだな。と言う声と共に2・3残してみんな出てきてしまった。栗原先生だったと思うが、悪いことをしてしまった。

酒を飲んで歩いたこと。3年の終わり頃、仮屋の久留麻でお祭りがあった。児玉（プロ野球に行ったのは弟）が地元であったので、野球部の連中が仮屋に行った。祭りを見て酒を飲んで、次の日朝帰りである。仮屋の連中なら朝帰りにならないが、私たちが居た、丁度体育先生2人がバスの停留所にいた。鉢合わせしたわけでもないが、目撃された。男の佐藤先生が注意をしなくては、と意気込んだが、女の山谷先生が引き留めてくれたそうな。後日談。

先生にいたずらしたこと。数学のアチチと言う先生の授業で答案用紙の返却があった。ある者は答案用紙を紙吹雪にして先生の頭の上から蒔いた。その時後ろから雑巾を黒板めがけて投げた奴がいた。それが問題になって、野球の練習が出来なくなったことがある。横山先生が教室で、お前がやったのか、お前かお前かと、詰問していったが、犯人は不明で終わった。あれは多分池上だ。食堂で何が気に入らなかったのか知らないが、床にどんぶりを投げ割った事があった。あれも池上だ。池上と言えば野球の練習中に私とぶつかったことがあった。彼の勢いが強かったので、私はねんざをしてしまった。翌日神戸に遠征するとこの3軒くらいかな。

それから、野球部ではないが小久保（同窓会長はその兄）の家へ柴ヤンがだめなら俺たちがいくらがんばってもだめだな。と言う声と共に2・3残してみんな出てきてしまった。栗原先生だったと思うが、悪いことをしてしまった。

酒を飲んで歩いたこと。3年の終わり頃、仮屋の久留麻でお祭りがあった。児玉（プロ野球に行ったのは弟）が地元であったので、野球部の連中が仮屋に行った。祭りを見て酒を飲んで、次の日朝帰りである。仮屋の連中なら朝帰りにならないが、私たちが居た、丁度体育先生2人がバスの停留所にいた。鉢合わせしたわけでもないが、目撃された。男の佐藤先生が注意をしなくては、と意気込んだが、女の山谷先生が引き留めてくれたそうな。後日談。

先生にいたずらしたこと。数学のアチチと言う先生の授業で答案用紙の返却があった。ある者は答案用紙を紙吹雪にして先生の頭の上から蒔いた。その時後ろから雑巾を黒板めがけて投げた奴がいた。それが問題になって、野球の練習が出来なくなったことがある。横山先生が教室で、お前がやったのか、お前かお前かと、詰問していったが、犯人は不明で終わった。あれは多分池上だ。食堂で何が気に入らなかったのか知らないが、床にどんぶりを投げ割った事があった。あれも池上だ。池上と言えば野球の練習中に私とぶつかったことがあった。彼の勢いが強かったので、私はねんざをしてしまった。翌日神戸に遠征するとこの3軒くらいかな。

たばこを吸っていたこと。津名高の前に山本菓子店がある。よく行ったものだ。野球部の連中と座敷でたばこを吸っていたら、横山先生が入ってこられた。慌てて煙を消して、障子を開けた。何事も無かったかのように。私は早くたばこを吸ったので32才でやめた。

たばこを吸っていたこと。津名高の前に山本菓子店がある。よく行ったものだ。野球部の連中と座敷でたばこを吸っていたら、横山先生が入ってこられた。慌てて煙を消して、障子を開けた。何事も無かったかのように。私は早くたばこを吸ったので32才でやめた。

私が大学に行くきっかけをつくってくれたのは、腰添だ。腰添と田村啓と3人で東京の専門学校に行ったが、戦後間もない頃で、不安定そのものだった。

私が大学に行くきっかけをつくってくれたのは、腰添だ。腰添と田村啓と3人で東京の専門学校に行ったが、戦後間もない頃で、不安定そのものだった。

3人共退学した。

1年後腰添から法政大学文学部に入ったと連絡が入った。小説家になるんだと。

私は慌ててな。彼が法政に入ったのでは、俺もがんばらなくてはと思った。大学を身近に感じさせてくれたのだ。

進学のためにアルバイトをしながら少し勉強した。私は勉強を含めて今弁護士をしている薄木にいろいろ世話になった。彼は一生懸命応援してくれた。感謝している。

ついでに薄木のことを少し書こう。彼とは小学校の時机を並べていたことがある。中学校の時、弁論大会で彼はすばらしい弁論を披露した。今でもその姿が思い出される。余りに皆に感動を与えたので皆はお前は弁護士になると良いと言った。

3人共退学した。

1年後腰添から法政大学文学部に入ったと連絡が入った。小説家になるんだと。

私は慌ててな。彼が法政に入ったのでは、俺もがんばらなくてはと思った。大学を身近に感じさせてくれたのだ。

進学のためにアルバイトをしながら少し勉強した。私は勉強を含めて今弁護士をしている薄木にいろいろ世話になった。彼は一生懸命応援してくれた。感謝している。

ついでに薄木のことを少し書こう。彼とは小学校の時机を並べていたことがある。中学校の時、弁論大会で彼はすばらしい弁論を披露した。今でもその姿が思い出される。余りに皆に感動を与えたので皆はお前は弁護士になると良いと言った。

多分その時の一件で薄木は弁護士を志したのではないかと思う。高校の時は進学組と就職組に分かれていて、学校ではすれ違いに「おー」と声をかける程度だった。風のような付き合いだった。薄木はボーイスカウトを始め宮城県に3・4回来てくれた。大切な友人である。大阪では裁判所の法廷で待ち合わせたことがあった。若き日の物語。

食堂のおばさんが、社会人になると角が取れて丸くなるよ。と言ってくれた。角が取れなくて棺桶（がんばこ）まで引きずっていきそうだ。

以上　こんな事もあった高校時代。約50年前の話。

多分その時の一件で薄木は弁護士を志したのではないかと思う。高校の時は進学組と就職組に分かれていて、学校ではすれ違いに「おー」と声をかける程度だった。風のような付き合いだった。薄木はボーイスカウトを始め宮城県に3・4回来てくれた。大切な友人である。大阪では裁判所の法廷で待ち合わせたことがあった。若き日の物語。

食堂のおばさんが、社会人になると角が取れて丸くなるよ。と言ってくれた。角が取れなくて棺桶（がんばこ）まで引きずっていきそうだ。

以上　こんな事もあった高校時代。約50年前の話。

夢

宮岡郁雄（高校七回生）

辞書で「夢」をひいてみると、①睡眠中に起る一種の心理現象、②はかないさま、③容易に実現出来ないこと、等と書いてある。関連して、夢ごこちとは、夢を見ているようにうっとりしたこころ等・・・。良い面から見れば、この世では現実から遠く離れた一種のあこがれや、願望の現象を意味したものであり、悪い面では、悪魔におそわれて絶体絶命の危機にさらされて目が醒めてアア夢で良かったと安堵したという経験は誰しもあることと思います。

たとえば億万長者を夢みて宝くじを買ったり、万馬券を夢みて馬券を買ったり、マイホームを手に入れてこれが私の夢やったんや!!とローン地獄をしばし忘れて至福の境地に浸ったり、恋しい人と願いが叶いゴールイン、まるで夢みたい!!、難関突破の入学、入社、マイカー入手、昇進、開業、名士の仲間入り、等々人生の夢、希望、理想はそれぞれの時期や節々に永遠の課題として人の心に宿っているものと考えます。

個人はもとより、夫婦や家族、会社や地域のそれぞれに「夢」は存在するものであり、希望の灯として燃やし続け、消すことが出来ないものであり、夢も希望もない状況ほど味気なく淋しいものは無いと思います。

人生も終焉、気力体力も衰えて安楽死、末は極楽浄土へ、が夢としたいものだが???

ちょうど五〇年程前になるが、私が津名高校生であった時のこと、自分の人生設計について父と語ったとき、「もっと大きな夢を持て!!棒ほど願って針ほど叶え」という方というのが世の常というものだ!!最初から針ほどの考えでは結果は無に等しい。」と一笑された事を思い浮かべることがある。私にはそれなりの現実を踏まえての考え方であったのだが…。あの時期、北海道大学のクラーク博士の「青年よ大志をいだけ」は父親の言とダブッて今も心に残っています。

最近の若者を対象としたアンケートによれば、人生の将来図について「夢」の程度が小さく、現実化に近い傾向が顕著であり、日本の将来が思いやられてならないとありました。

夢を大きく持ち、夢に向ってアグレッシブな強い精神力と努力の積重ねが能力を育て技術開発や、人の心に共感を与え、協力が得られて、夢の実現に近づく日が来るものと信じます。

私達淡路島に縁の有る者に聞きなれた言葉として、「夢のかけ橋」があります。

全島民の永年の夢であった本州と島を結ぶかけ橋は約50年前に云われ始め（小生の記憶）当時としては島民の大きな夢であった。



平成10年、その夢が叶って今、堂々と海峡にそびえ立つ姿は、まさに夢の具体化である。私はこの橋を見るたびに高校生時代の島の生活と、以後人生の節々に想ひを巡らせ感慨にひたる一時がある。

夢といえば、熱烈な虎キチの私にとって、18年ぶりにリーグ優勝

多分その時の一件で薄木は弁護士を志したのではないかと思う。高校の時は進学組と就職組に分かれていて、学校ではすれ違いに「おー」と声をかける程度だった。風のような付き合いだった。薄木はボーイスカウトを始め宮城県に3・4回来てくれた。大切な友人である。大阪では裁判所の法廷で待ち合わせたことがあった。若き日の物語。

食堂のおばさんが、社会人になると角が取れて丸くなるよ。と言ってくれた。角が取れなくて棺桶（がんばこ）まで引きずっていきそうだ。

以上　こんな事もあった高校時代。約50年前の話。

辞書で「夢」をひいてみると、①睡眠中に起る一種の心理現象、②はかないさま、③容易に実現出来ないこと、等と書いてある。関連して、夢ごこちとは、夢を見ているようにうっとりしたこころ等・・・。良い面から見れば、この世では現実から遠く離れた一種のあこがれや、願望の現象を意味したものであり、悪い面では、悪魔におそわれて絶体絶命の危機にさらされて目が醒めてアア夢で良かったと安堵したという経験は誰しもあることと思います。

たとえば億万長者を夢みて宝くじを買ったり、万馬券を夢みて馬券を買ったり、マイホームを手に入れてこれが私の夢やったんや!!とローン地獄をしばし忘れて至福の境地に浸ったり、恋しい人と願いが叶いゴールイン、まるで夢みたい!!、難関突破の入学、入社、マイカー入手、昇進、開業、名士の仲間入り、等々人生の夢、希望、理想はそれぞれの時期や節々に永遠の課題として人の心に宿っているものと考えます。

個人はもとより、夫婦や家族、会社や地域のそれぞれに「夢」は存在するものであり、希望の灯として燃やし続け、消すことが出来ないものであり、夢も希望もない状況ほど味気なく淋しいものは無いと思います。

人生も終焉、気力体力も衰えて安楽死、末は極楽浄土へ、が夢としたいものだが???

ちょうど五〇年程前になるが、私が津名高校生であった時のこと、自分の人生設計について父と語ったとき、「もっと大きな夢を持て!!棒ほど願って針ほど叶え」という方というのが世の常というものだ!!最初から針ほどの考えでは結果は無に等しい。」と一笑された事を思い浮かべることがある。私にはそれなりの現実を踏まえての考え方であったのだが…。あの時期、北海道大学のクラーク博士の「青年よ大志をいだけ」は父親の言とダブッて今も心に残っています。

最近の若者を対象としたアンケートによれば、人生の将来図について「夢」の程度が小さく、現実化に近い傾向が顕著であり、日本の将来が思いやられてならないとありました。

夢を大きく持ち、夢に向ってアグレッシブな強い精神力と努力の積重ねが能力を育て技術開発や、人の心に共感を与え、協力が得られて、夢の実現に近づく日が来るものと信じます。

私達淡路島に縁の有る者に聞きなれた言葉として、「夢のかけ橋」があります。

全島民の永年の夢であった本州と島を結ぶかけ橋は約50年前に云われ始め（小生の記憶）当時としては島民の大きな夢であった。

平成10年、その夢が叶って今、堂々と海峡にそびえ立つ姿は、まさに夢の具体化である。私はこの橋を見るたびに高校生時代の島の生活と、以後人生の節々に想ひを巡らせ感慨にひたる一時がある。

夢といえば、熱烈な虎キチの私にとって、18年ぶりにリーグ優勝に導いた前タイガース星野仙一監督の色紙に光る字「夢」を想ひ浮かべるのであります。

彼は監督に就任するや、選手達や、ファンに永年味わえなかった「優勝」を「夢」にその実現に向けてこの文字を掲げ、執念と鋭気、努力で共感を呼び、見事「夢」を叶えたあの感動は、まさに圧感でした。今年も夢再びと虎党の太鼓と笛が鳴り響いていますね。

最後に、我が母校津名高校、私が卒業して約50年を迎えることになりますが、幾多の卒業生や恩師が校門をくぐり、校舎も増改築を重ね今日もその歴史を刻みつづけていますが、別報の通り、このたび校舎の新築移転を機に、永年同窓生や関係者の夢であった同窓会館の建設が具現化する絶好の機会が来たと考えています。

ちなみに歴史ある学校にはそれなりの施設を有しており、卒業生の母校へのよりどころの場として、又在校生との絆を育む場として価値は高い。我々も又会館の設立を夢として待望久しい。

この度の機会に是非、永年の夢の実現を目ざし関係役員の音頭一声に合わせ皆様のご理解と共感が得られん事を願って一筆「夢」に託した次第です。

神戸アマチュア歌謡連盟本部理事　歌謡ステージ「心」内
宮岡郁雄（高七回生）
事務所　神戸市兵庫区羽坂通四丁目一一二七
TEL〇七八一五七七一一〇九九
自宅　明石市朝霧北町一一一五一五
TEL〇七八一九四一〇四二七

淡路島でつくる日本のお線香
宝と花琳
株式会社　薫寿堂
代表取締役　福永稔（高八回生）
本社〒656-1521　兵庫県津名郡一宮町多賀一二五一一
TEL〇七九九（八五）二三〇一（代）
FAX〇七九九（八五）二三二

淡路市誕生



兵庫県代表監査委員
門　康彦
（高校十五回生）

歴史の評価は難しい。神風特別攻撃隊敷島隊指揮官関行男海軍大尉は、軍神と称えられたが敗戦後の世相は、23歳で散華した軍神の母には冷たかったと言われている。評価は時代によって変化する。

平成の大合併と言われるなか津名郡5町は、淡路町長の選挙により又一歩前進した。

これからは、県議会の議決を経て合併の決定、総務省の告示により、来年4月1日の淡路市誕生を目指していく。淡路は一つと言われながら、結果として三市の暫定措置を選んだ今の住民を、後世の人達はどう評価するだろうか。確かめてみたい気もするが、物理的に無理なようだ。

ただ、その結果、私は前から最終的市名は、「淡路島市」と思っていたので、淡路市、洲本五色市、南あわじ市がまとまる時には、名称は淡路島市しかない事となり、ベストではないがベターの途中経過かなと思っている。

さて、この地に生まれ育った者の証として、津名高校出身者に何が為し得るかが、今、問われているとしたら、どう答えるべきか。

津名高校を卒業した人の大半が島外へ去る。そしてその大半が島外の生活場所を実質的故郷とし、その地からの視点、価値判断を作りあげてしまう。しかも、島の情報を共有する基盤が薄い分、島への理解度も浅い。最低限の共感すら難しい所以である。自分の人生において生まれ育った所の時間の方が短くなった人には、行政の市町村合併等、問われれば答えるくらいの関心事で、ほとんどと言っていいくらい無関心である。島外から移り住んでいる人達の方がそうした議論に熱心となる結果をも生む。そして困った事に、後者の発言に対して、島で生まれたと称する前者は、島を想ってのことであろうが責任の無い発言で混乱を招いたりする。

重要な事は、その時、その地で生活し、そして未来も生活していこうとする者の視点と言うことなのではないだろうか。歴史の節目、或る意味では、有事の時に、個々人の資質が自然と浮き上がって来る。それは、その地出身の者でも同じで、難しい事ではあるが、奉仕的観点からの視点、行動が求められる。津名高校の卒業生にも、今、その存在が問われているのであるが、さてどうであろう。心しなければならない。

淡路市の課題は、山積しているが、最重要事項は、五町の行政の調整とまとめであろう。西浦と東浦の地形の違い、淡路町と東浦町の生活圏感覚は明石・神戸市にある事、北淡町の東西の意識、一宮町と津名町は、淡路市だけでは真ん中に位置していない事等、高等学校も島外、島内入り乱れているといった状態で、このような個々ばらばらをどう集約していくかという難問題が有る。淡路市誕生は、新火山の噴火のようなものでも有る。

しかも、将来の事に言及するなら、近い未来における淡路島市の誕生を視野に入れた検討も同時にしていかなければ、発展的な地域創りとはならない。

偶然には違いないのだが、津名高校の新校舎は、来年完成し、同じ時期に淡路市が誕生する。その時、歴史は動いたというまさに後世に残る年になるはずである。

津名高校の新校舎への進入路が、様々な人達のそれぞれの立場での努力の結果、環状線から新設され、桜並木も実現の運びとなった。このように自分たちが今、出来る範囲の中で最善を尽くす事が時代を共有する者の定めとしてあるのではないだろうか。

その道の両側の桜の花が舞う下を、後輩たちが楽しげに歩く姿は、淡路市の未来を示唆しているし、国のため、愛する人のために戦った英霊の辞世の句に、「教え子は散れ、山桜此の如くに」とあったと聞く。心したい事である。

退職と今は亡き恩師へのご報告

五　熊　詔　一
（高校十三回生）

私たち同窓生全員が人生のひとつの節目として還暦を迎えることが出来ました。

私も昨年12月末でJTBを無事に定年退職致しました。思えば42年前詰襟の学生服ひとつで烏を出て以来、様々な事が頭の中をよぎってまいります。

淡路で育った私にとって当時の旅行業と言った職種など理解も出来ず、全てが入社してからの経験となりました。仕事柄海外へ出る機会にも恵まれ多くの諸外国へ添乗などで出かけました。

初めて行く国へお客様をお連れする訳ですから何度経験しても緊張感が常に大きなプレッシャーとして自身に被さってきます。時には英霊の辞世の句に、「教え子は散れ、山桜此の如くに」とあったと聞く。心したい事である。

淡路市の未来を示唆しているし、国のため、愛する人のために戦った英霊の辞世の句に、「教え子は散れ、山桜此の如くに」とあったと聞く。心したい事である。

そんな重圧をお客様と共に楽しんだり、失敗を一緒に旅の想い出にしたりで、今思うと懐かしく本当に素晴らしい会社生活を送らせて頂いたと思います。

特に印象に残る地としては、スペインのコルドバ地方への途中の町トレドの、古き要塞の街そのものを今もって残し生活している姿に感銘し、また同じようにベルギーのブルージュの街も日本の京都に似た美しい街でした。ドイツのマイセン街道や北欧の港町ストックホルムなど機会があれば仕事を離れ再度訪れたいと思います。

数ある職場の中でも私にとってもっとも貴重な体験をさせてくれたのが大阪国際空港内支店でした。多くの海外旅行に出発されるお客様の出国手続き等をサポートする仕事です。

空港は毎日がドラマの連続でした。色々な出来事が毎日おこるのです。多くの人間模様を観ることが出来、まさに人々の悲喜こもごもを体験させていただく事が出来ました。中でも心の奥深く残るのが、高知の修学旅行生の上海での列車事故に伴う対応や、日航機墜落の御巣鷹山事故など、現場で側面から体験できた私にとって忘れることのできない出来事でした。

こんな小生ですが、皆さんと同じように辛いことや苦しい時も数多くありました。そんな時自身を励ましてくれたのが島の思い出なのです。遅くまで部活に励んだ体育館の明かりや、共に絵筆を運びながら談笑した仲間たちの姿など、「皆どうしているのだろうか」、故郷の山々や海辺の光景など、昨日のように浮かび「頑張らなければ」そんな思いを支えにしてまいりました。多くの同窓生からの旅行の申込にも温かい励ましが感ぜられどれほど元気付けられた事か、今もって感謝致しております。

こうして会社（JTB）をこよなく愛し、42年間詩りを持って勤め上げる事が出来たのも、今は亡き東　英男先生のお陰なのです。当時阪神間で足を棒にして新しい就職先の会社を開拓し初めて獲得して頂いた会社だったのです。そして私に入社の機会を与えて頂いたのが、このような素晴らしい会社人生を送らせて頂くことが出来たのです。

紙面をお借りして改めて東先生の墓前に退職の報告と感謝の気持ちを捧げたいと思います。今は天から授かった大きな休暇を大切にゆっくり充電してまいりたいと思います。

思いつくまま

藤　本　　勝
（高校十三回生）

「おばあちゃん、お茶が入りましたよお」妻が今年米寿を迎えた母に声をかける。「ありがとう、ありがとう」スプーンと手摺りを頼りに、覚束ない足取りで母がリビングに来る。昼前の我が家のティータイム。元気ではあるが身体の自由が利かない上に、耳が遠くなり、テレビを見るでもなく、一日の殆どをベッドの上で、天井を見つめて暮らしている母にとって、家族の団欒が何よりのご馳走である。

私も今年四月に満六十一才の誕生日を迎えた。還暦を過ぎれば月日の経過はあっと言う間、と聞いてはいたが正にその通りで、このままだと古稀、喜寿、傘寿が直ぐに来そうな気がしてならない。

昨年四月末、四十一年間勤務した株式会社大丸を定年退職となった。子供の頃から絵を描く事が大好きで、会社では美術部に配属された。東京、京都を中心に、作家訪問をしたり、有名作家の作品を販売したり、依頼されれば個人のコレクションの真贋鑑定から、現在価格の査定、絵画の種類、歴史、販売ノウハウから鑑定法等の講演を社内、外で行った。会社からは嘱託としての慰留を懇願されたが、定年は人生の区切りであるからと見栄をはって、四十一年間の会社生活に終止符をうった。退職の挨拶状の中で「これからは悔いを残さないよう、健康に留意して今迄以上に家族を大切に、数多い趣味を満喫しながら、充実した日々を送ってゆきたい」と書いたが、今のところ全くの酔生夢死で、退職したら全面的に手伝おうと思っていた母の介護も殆ど妻まかせである。永年会社の為、家族の為に粉骨砕身働いて来たのだからと、身勝手な言い訳をしているが、心のどこかで妻に手を合わせている。

長男と全くの一人っ娘が結婚すれば、いずれはこの様な結末を迎える事は、薄々予測はしていたが、十数年に亘る妻の献身的介護生活には頭が下がる。自分の父親に始まって母、私の父、そして現在の母と休む間もない。幸い私の兄弟姉妹四人と、それぞれの配偶者がいたって仲が良く、事あるごとに我が家に集まっては、母を中心に積もり積もった話に花を咲かせている。特にその時の母は最高に幸せそうである。親が子を、子が親を殺害するという殺伐とした昨今に在って、我が家は円満だと自負している。

戦争真只中、父の赴任先の韓国で私を出生し、命からがら引き揚げ、健康体に育てられた母への恩は忘れてはいない。それ故、妻には感謝、感謝の毎日である。これから先、何年介護生活が続くかわからないが、それが終った時が本当の私と妻の定年だと思っている。

閑話休題、学校卒業以来四十二年余りが烏兎忽々に過ぎ、今でも「津名高等学校」という文字を見、耳にする度に懐旧の情に浸ってしまう。ただこれ迄仕事の繁忙にかまけて、薫陶を受けた先生方とのお付き合いが、疎遠になってしまっている事には、悔恨の念にかられている。人生の中でこの三年間は、生涯忘れ得ない貴重な体験の連続であった様に思う。最近では盲亀の浮木とならぬよう、同窓会を通じて旧交を温めあっており、その日を心待ちにしている今日この頃である。

「親思う　心に勝る親心　今日のおとずれなんと聞くらん」

思いつくまま粗文を綴ってしまったが、吉田松陰の一句を引用して終わりとする。



勝本　藤　絵

津名高校　七回生有志

北小路和子　板東　裕二
木村多津子　筆谷　幸子
矢野　端　橋形　月代
岩鼻　秀明　吉田　孝雄
植野　保子　松本　依江
出雲　貞次　森田　進
西岡としゑ　山本　祐三
山崎　実夫　大谷みえ子
青木　良正　中村　泰
南光　三雄　中原　堅司
池上　幸三　元山　紀
角南　忠良　岩木　邦安
平見　進　安田さよ子
奥田　泰久　松島　延子
吾妻　和美　熊岡　秀也
森　加代子　稲本やす子
雉鼻　澄子　正本　君子
平川　義彦　北坂　尚徳
西本　滋子　広田　輝明
片岡　昭子　今田　博之
国重香代子　山本　守

オキ労務経営事務所
社会保険労務士　沖　正　典
（高九回生）
〒655-0017　神戸市垂水区上高丸一丁目一二―四〇五
TEL／FAX　〇七八―七〇八―三六六一

川西市長
柴　生　進
（高十回生）
〒666-0016　川西市中央町十二番一号　市役所
TEL（〇七二）七四〇―一一一一

村　上　昇
（高十回生）

岩　井　吉　人
（高十二回生）
〒655-0034　神戸市垂水区仲田二―一―三三
TEL・FAX〇七八―七〇八―六六九

津名郡5町合併　「淡路市」に向け加速



◁5町長と五百蔵県出納長

◎合併協定調印式
5町長が調印

津名郡5町（津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町）の「合併協定調印式」が2月7日、津名町のしづかホールで開催されました。

この日は時おり吹雪にみまわれるあいにくの天候となりましたが、各町の関係者や五百蔵・兵庫県出納長など約500名が会場を訪れていました。

舞台では津名中学校吹奏楽部による開幕のファンファーレの後、5町長が合併に関する48項目の協定書に署名、押印しました。合併の期日は平成17年3月6日、新市名は淡路市となっています。

その後、欠席した川西・淡路町議会議長を除く30名の議会、住民代表委員等が立会人として署名。閉式の辞で上田・一宮町長が「5町で足腰の強い郷土をつくりあげたい」と述べていました。

◎町臨時議会
合併議案を可決

臨時議会となる「第321回一宮町議会」が2月19日に開催されました（会期1日）。

町は津名郡5町合併に関する5議案を提案。いずれも原案どおり可決されました。

なお、この日はともに合併を目指す津名町、淡路町、北淡町、東浦町の4町においても議会が開催され、合併関連議案が可決されています。

平成16年3月「広報 いちのみや」より転載

平成の大合併

柴生　進（高校十回生）

平成の大合併によって町村合併が進められています。国の唱える三位一体改革と相俟って加速度を増し、関係者にとっては避けて通れない課題となっています。私も国が提唱する前から3市1町（宝塚市、伊丹市、川西市、猪名川町）の「合併をも視野に入れた広域連携」の研究会を立ちあげました。3年間進めましたが、結果は今まで以上に広域連携を強めるに終わりました。

今まで言われてきたように、合併問題の最後の壁は、新しい町の名前と市役所の場所という極めて情緒的な事であり、我々が主唱する、住民ニーズに応えるための、これからの分権時代における自治体ありかたや、合併によるスケールメリットなどは、合併を進める大きな課題と受け止めるべきであったと思います。

住民が少ないアンケートなどで分かりました。

私は合併問題を考えるとき、いつも思い出すのが淡路町と東浦町の事です。かつて昭和の大合併の時に、かなり無理して一緒になったのですが、地域的にも風土的にも落差の大きい地域が一緒になっても、所詮、男女の間柄と同じで長続きしません。結局、役場の位置を巡って今のような結果となりました。その後遺症として、合併以前より悪く、何件かの家を他の町に残しての分町となってしまいました。これからの時代は、コミュニティの時代で、そのために子どもやお年寄りが大きな被害を受けていると思いました。

私が県会議員時代に、その残された淡路町の家が東浦町に戻る度に、「町域の変更」として議題にされます。そこで、2つの町の幹部の方にお会いしましたが、相当の根深い問題で一朝一夕で片付く問題ではないことが改めて分かりました。先般開かれました淡路花博は分町する前に開かれ、そこに役場を作れば、役場の位置を巡って乱闘する事もなかったかもしれません。

今度の平成の大合併によって、来年に津名郡が五色町を除いて「淡路市」として発足されるようです。この合併により、半世紀続いてきた淡路町と東浦町の大変な課題が一挙に解決する事は両町の住民の皆さんにとって、大きな喜びとなって欲しいと思います。

「奥野学級」と「風の会」

中野淑郎（高校十五回生）

私たち、昭和三十九年卒業の十五回生、二年四組と三年四組は、二年間担当をしていただいた奥野正巳先生（人文地理）の思い出も深く、よくまとまったクラスだったと自負しています。

残念ながら奥野先生は、卒業後急逝されました。平成四年の学年同窓会の折に、参加者全員で先生の墓前に奥野クラスのより一層のまとまりをご報告し、これを期に先生を偲んで、三年四組「奥野学級」と名付けました。淡路の世話役と阪神間の世話役が中心となって、同窓会の設定や同級生の住所録作りを続けてきました。

その後、平成十年一月十五日に高槻近隣の同級生がクラスに関係なく、高槻駅前の「風の街」に集い、懐かしい想い出話に花を咲かせたのが、「風の会」のスタートです。毎年成人の日に集まること（いつまでも二十歳の気分で）を合言葉に年々その輪を広げて、早くも七回目を数えました。

人集めに余り無理をせず、集まれる人たちで集まり、学生時代に戻って時を忘れ、語り合い歌い合って一日を過ごしています。来年の再会を楽しみに、お互い一年間の無事を祈り、より多くの人が集うことを願っております。



還暦が近づき一年が短く感じられる昨今、クラスの枠などにとらわれず一人でも多くの同級生に会える機会を作りたいと思います。十五回生の皆さん！より多くの同級生を誘い合って、年に一度は「風の会」にご参加ください。

島の新名所「淡路島冒険の森」へのお誘い

北川映子（高校十五回生）

東浦町楠本。大磯港から徒歩7分のこんもりした里山に、にぎやかな歓声と青竹を割る鎌の音が響く。やがて昼食を作る煙が立ち昇り、美味しい匂いが漂う。ここは淡路島の隠れスポット。赤ちゃんもお年寄りも障害のある人もない人も島の人も都会の人も、申し込み不要・無料で参加できる「自分の責任で自由に遊ぶ」全国でも珍しい冒険遊びの森です。



この森は、小南広之（15回生）さん夫妻が旧自宅の裏山に、少子化でひ弱になった子供たちや疲れ気味の大人が、自然の中で遊びを創り出す喜びや生きる楽しさを実感してほしいとの願いで開設した。ぼろぼろだった牛小屋が、子供の絵本部屋と宿泊も出来るくつろぎの部屋に改築された。今後、森や自宅跡がどう進化するか楽しみである。

神戸、毎日、読売新聞に紹介され、テレビ局や遠方からの見学者・問い合わせが絶えない。参加者が多い日は百三十人程だ。自然が財産である淡路島の未来の一端を象徴していると、思うのは私だけだろうか。詳しくはホームページ、「淡路島冒険の森」で検索を。

少々の怪我は気にせず挑戦。スリルで野生が蘇る。崖をよじ登りターザンごっこ、木から吊るした巨大ブランコやハンモック、青竹を組んだ地上5メートルのツリーハウス等で遊んでいたり、青竹で新しい見晴台を造っていたりした子供や大人、冒険家、東京からのカメラマン、新聞記者など70人余りが野外テーブルに集まり、昼食開始。

先ほど子供たちが掘ったタケノコの煮物や美味しいお寿司や主婦の持ち寄りで、山海の恵みを皆で料理し分かち合う。極上の贅沢だ。

お知らせ

十五回生　学年同窓会のご案内

日時　平成16年8月29日（日曜日）

阪神支部・本部の総会・懇親会と、その終了後～10時30分～15時、15時～

場所　神戸東急イン

前回より早や5年が経ちました。皆様お元気ですか。還暦が近づき、退職が目前になった昭和39年卒の私達。クラスの枠をなくし懐かしい友と旧交を温め、楽しく語り合いましょう。

今回は総会・懇親会と抱き合わせて開催していただきます。アトラクションで歌われる藤岡まゆみさんは、15回生（2年前逝去）の娘さんです。応援の意味も含め、すてきな歌声をご鑑賞ください。

出席の連絡は、高校の総会懇親会出席はがきに、「15回卒」を明記ください。

※学年同窓会にのみ参加の方は、世話係
中野淑朗、池上恵子、新開勝文古土井富士子
高谷秀男、松浦美代子岡本佐代子、北川映子、
に連絡ください。

同窓会・学年行事等の案内に支部報をご活用ください

同窓会・学年行事等を開催の場合、ぜひこの紙面をご活用ください。

原稿あるいは計画を、阪神支部または編集委員にお寄せください。

コメルシオ・コクボ
真珠輸出・卸
小久保　澄　夫（高十三回生）
〒657-0011 神戸市灘区鶴甲二―十一―四一四〇二
TEL（〇七八）八四二―〇四二五

藤本　勝（高十三回生）

東京コントロール・システム株式会社
会長　宝谷能章（高十三回生）
〒153-0053 東京都目黒区五本木二―五十二―十二
TEL〇三―三七一一―八六六〇番(代)
FAX〇三―三七九一―四八五一番

株式会社　田中不動産
代表取締役　田中種義（高十三回生）
〒569-0081 高槻市宮野町十二番十六号
TEL〇七二―六七五―九一三一番(代)
FAX〇七二―六七五―九一三三番

田中　登（高十三回生）

南　正光（高十四回生）

兵庫県代表監査委員
門（かど）　康彦（高十五回生）
〒650-8567 神戸市中央区下山手通五丁目十番一号
電話（〇七八）三四一―七七一一（代表）
直通（〇七八）三六一―三八〇三
FAX（〇七八）三六一―三九三六

（株）オクノ代表取締役
歯科機材販売
岩橋義久（高十五回生）
会社 洲本市納二〇三一
（代）〇七九九―二二―五〇九
自宅 洲本市塩屋二―一―八
〇七九九―二二―八八四

花と緑
株式会社　金岡光輝園
代表取締役　金岡伸明（高十五回生）
本社／〒658-0211 兵庫県津名郡津名町志筑二―九
TEL〇七九九―六二―四七一〇
FAX〇七九九―五二―五八八六

新校舎建設記念事業への
ご支援のお願い
新校舎建設伴う記念事業募金趣意書

私たち県立津名高等学校卒業生にとって、心のふるさとである母校の、移転・新築工事も順調に進んでおり、平成17年4月には完成の予定です。

新校舎建設に伴い、会員の中から永年の悲願である同窓会館の建設に踏み切っては、との意見が多数聞かれるようになりました。このような状況を踏まえ、これまでに何度も幹事会・理事会等を開いて議論を重ね、この度記念事業実行委員会を組織する運びになりました。

景気の現況は決していいとは言えませんが、同窓会で卒業生の皆様に広く呼びかけ、募金活動を行っていこうとの結論に達しました。募金に関する概要は下記のとおりです。

記

- **募金目標額**　5千万円（一口　5千円）
- **募集期限**　平成16年12月30日（木）まで
- **事業の内容**　同窓会館建設・藤棚の設置・植樹
  体育館および文化活動の諸器具・諸機器の購入等

なお、この募金は、「特定寄付金」として扱われ、寄付金控除の対象となります。特に個人の場合、一万円以上の寄附金に対し、領収書（郵便振り込み）を保存し確定申告することで、適用されます。

非常に困難を伴う事業ですが、会員の皆様のご熱意・ご協力で、ぜひ実現したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成16年7月1日

津名高等学校同窓会　会長　小久保正雄

新校舎建設記念事業実行委員会　委員長　三津　啓祐

何卒ご賢察のうえ、ご援助のお力添えをくださいますよう、切にお願い申し上げます。ご寄付にあたっては、先般、本部の同窓会報に同封いたしております「払込取扱票」によりご送金をお願い申し上げます。

母校だより

体育部　　平成15年度の主な戦績

	淡路総体	県総体	淡路新人	県新人	その他
野球	春季淡路 2位	県選手権 4回戦	淡路秋季 3位		
陸上競技	男子総合　3位 女子総合　4位 100MH　1位　山崎 400MH　1位　山崎	男子 三段跳び　6位　植松 ◎近畿大会 三段跳び　予選落ち　植松	1年男子総合　3位 三段跳　1位　鵜上 200M　1位　濱川 2年男子総合　3位 1年女子総合　1位 100MH　1位　北畑 100MH　1位　北畑 走幅跳　1位　岡 2年女子総合　4位	1年男子 200M　8位　海川 ベスト16以内 2年男子 3000SC　田中 1年男子 3000SC　池 100M　垣内 二段跳　鵜上 1年女子 100MH　北畑	淡路駅伝 男子総合　4位 女子総合　3位 県駅伝 男子総合　28位
サッカー	2位	1回戦 津名0－2鳴尾	3位		☆国民体育大会出場 （静岡県） 西谷　泰宏
ソフトボール	1位	4回戦（ベスト16） 津名0－7神戸常盤	1位	第5位（ベスト8） 津名0－2社	県民大会　第3位
ソフトテニス	男子団体　2位 男子個人　1位 坂井・石住	男子団体　2回戦 男子個人 ベスト8　坂井・石住 ◎近畿大会 男子個人　坂井・石住 2回戦 1－4筋師・田中 （和歌山北） ☆全国大会 男子個人　坂井・石住 2回戦 2－4馬場・竹松 （日大豊山・東京）	男子団体　2位 女子団体　3位	男子団体　2回戦 女子団体　2回戦	県民大会 男子個人 ベスト8 坂井・石住 ☆国民体育大会出場 （静岡県） 石住　綱基
バスケット	男子　5位 女子　1位	男子　3回戦 津名　60-98　甲南 女子　3回戦 津名　53-54　星陵	男子　1位 女子　1位	男子1回戦 女子ベスト16 津名　77-78園田学園	県民大会淡路予選 男子2部　1位 女子1部　1位 県民大会 女子　2回戦
バレー	男子　3位 女子　5位	男子　2回戦 津名0－2御影 女子　2回戦 津名0－2神戸野田	男子　3位 女子　5位		
柔道	男子団体　1位 男子個人 90KG　1位　出口 66KG　1位　白井	男子団体　2回戦 男子個人 90KG1位　出口 ◎近畿大会 男子　90KG　2位　出口 ☆全国大会 男子　90KG　出口 3回戦　ベスト16	男子団体　1位 男子個人 60KG　1位　白井 2位　萩上宗 66KG　1位　保久保 2位　久場 81KG　2位　河端	男子団体　2回戦 女子団体　2回戦	全日本ジュニア 兵庫県大会 男子90KG　1位　出口 ☆国民体育大会出場 （静岡県） 出口　雄樹
剣道	男子団体　4位 男子個人 1位　弦牧 女子団体　1位 女子個人 1位　岩本 2位　西田	男子団体　1回戦 女子団体　2回戦 女子個人　3回戦　前田	男子団体　2位 女子団体　1位 女子個人 1位　北門	男子団体　2回戦 女子団体　4回戦 （ベスト16）	
卓球	男子団体　1位 男子シングルス 1位　岡本 男子ダブルス 1位　小阪・岡本	男子団体　2回戦 男子シングルス　3回戦　岡本	男子団体　3位 男子ダブルス 1位　岡本・牟木 男子シングルス 2位　岡本	男子団体　1回戦	
水泳	男子団体　2位 男子個人 200M自　1位　柿原 200Mメドレー 1位　柿原 女子団体3位 女子個人 50M自　1位　右上	男子個人 200M自　18位　柿原 100M自　24位　柿原	男子個人 200M自　1位　柿原 100Mバタフライ 1位　柿原 200M平　1位　大上 女子個人 50M自　1位　芦尾 200M平　1位　六條	2年男子 100Mバタフライ　8位　柿原	
ウェイトリフティング	男子団体　3位 個人53kg級 1位　久賀田	男子団体　10位 個人53kg級　6位　久賀田 62kg級　8位　栄川	男子団体　3位 個人53kg級 1位　久賀田	男子個人 62kg級　2位　栄川 3位　伊月	

（注）　淡路地区大会は、個人戦は1位のみ（ソフトテニス・卓球・柔道・剣道は2位まで）

音楽との出会い

ジャズボーカリスト
藤岡　まゆみ（高校四十五回生）

高校時代の思い出はたくさんありますが、ギターマンドリンクラブで体験した事は私に大きな影響を与えたと思います。それまでもピアノやフルートなど様々な楽器に触れ、音楽を楽しんできましたが、鳥肌が立つような感動をしたのは初めてでした。感動する瞬間、とても大きなエネルギーの流れを感じ、「生きている」という事を実感しました。

練習も朝晩、夏休みも毎日。今思えばハードな気がしますが、当時は楽しくて楽しくて仕方なかったです。パートリーダーだったので、他の部員には迷惑だったかもしれないですが、みっちり練習するのが好きでした。

月日が経ち、大学時代は音楽を離れた事もありましたが、やはりあの時の感動が忘れられず、いつの間にか音楽に帰る自分に気づきました。音楽とより深く親密に付き合って生きたいと思うようになり、仕事にしようと決心しました。

私は音楽を通して、誠実なミュージシャンだけでなく企画してくださるスタッフやお客さんや色んな人と出会い、尊敬し、憧れ、心を動かされました。これからもひとつひとつの音や出会いを大切にしていきたいですし、伝えられた感動を一人でも多くの人と共有していきたいです。それが私の大きな夢でありよろこびです。

藤岡　まゆみ　プロフィール

北淡町出身。立命館大学在学中に「AN MUSIC SCHOOL」京都校Vocal科に入学し、3年間学ぶ。卒業後、自己のバンド「アーバンシューズ」を結成。2001年、淡路島に帰郷。2002年、オリックスのグリーンスタジアムにて国歌斉唱と歌、同年9月、淡路島震災記念公園にて中米同時多発テロ犠牲者追悼コンサートを行うなど、現在、バンドやソロでの活動を京阪神中心に精力的に行う。

編集後記

同窓生の皆様には、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は支部運営に温かいご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

支部報も平成8年第1号発行以来、回を重ね第9号をお届けすることができました。これ偏に皆様方のご支援と感謝いたしております。

さて、本文でもお知らせいたしていますが、本年度の総会は交通至便な三宮駅前「神戸東急インホテル」で開催いたします。尚、今回の総会では津名高卒業生（第45回生）でプロのジャズシンガー藤岡まゆみをお招きしてのコンサートを企画しますので、皆様奮ってご参加下さいますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の編集にあたり、原稿のご寄稿と、賛助広告にご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

なお、次回の支部報の発行は、平成17年8月頃の予定です。ふるって原稿をお寄せ下さい。

編集委員

宮岡　郁雄（7）
筆谷　幸子（7）
岩井　吉人（12）
小久保澄夫（13）
田中　種義（13）
南　正光（14）
北川　映子（15）

※（　）は卒業回生です。

北川映子（高十五回生）
〒651-1321 神戸市北区有野台四－一〇－一
TEL〇七八－九八二－三一一八
FAX〇七八－九八二－三一一八

東田雅俊（高十六回生）

中田晴繁（高十七回生）

医療法人社団 高山会 高山クリニック
理事長　高山秀則
卒業生十一名在職
〒656-2131 津名郡津名町志筑新島六－三七
TEL〇七九九－六二－一三六六

税理士　花野正悦（高十九回生）
〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通七－一－十四
TEL〇七八－五七三－五三五
FAX〇七八－五七七－二三一八

司法書士　辻野由里子（旧姓・西野）（高二十一回生）
〒五八〇－一〇〇二
松原市高見の里一丁目四番三〇号
TEL〇七二－三三六－八四四八
FAX〇七二－三三六－八四四八

弁護士　藤木啓彰（高二十七回生）
事務所〒541-0043 大阪市中央区高麗橋二－四－一一 東ビル七階
TEL〇六－六二二三－二〇八八番
FAX〇六－六二二三－二〇一〇番

大切な人のもしものときに
（株）片山葬祭
片山　悟（高二十九回生）
〒656-1601 兵庫県津名郡北淡町黒谷一四八二番地
TEL〇七九九－八四－一二二二
FAX〇七九九－八四－一八三二